

● タイムマシンで天才になれる話
● タイムマシンがあれば、だれでも天才になれる
● まず、じゅぎょうにおいて、先生が、
● 「人間がたんじょうしたのは、今から何年前？
● とわけのわからない問題をしたとする。
● どうぜん、クラスはシーンとなる。
● 「何だ、だれもわからないのか、答えは400
● 万年前だ。」
● と先生が答えを言ったところで、タイムマシン
● に乗る。
● 当然、先生が質問をする前にもどるのだ。
● そして、
● 「人間がたんじょうしたのは400万年前です
● 先生！」とかつこよく答える。
● すると、教室がワーっともりあがるだろう。
● 次に、テスト、1回目は30点くらいとったと
● しよう。そのテストの答えをおぼえたら、
● タイムマシンの出番だ。
● タイムマシンに乗って、テスト前にもどり、
● おぼえた答えをうつすだけ。だれよりも早く、
● 満点をとれることまちがえなしだろう。
● さらに、けがをしてしまう人がいたとする。
● そしたら、「こうこうすると、けがをする
● よ。気をつけて。」と言っておくと、よげん者
● にもなれる。
● だが、気をつけなくてはならない。結果的に天
● 才になれても、頭はよくなっていないことに。

問 1 筆者はタイムマシンがあれば、だれでも

() になれると言っている

問 2 タイムマシンを使って気をつけないければないことは何か